

授業科目 [フィールド研究(3年生後期／講義科目／選択)]

目的・ねらい 本科目では、地域でのフィールドワークを通じて、地域が抱える諸課題について実践的に学ぶことを目的としている。
連携する地域のイベント参加や調査研究などの実践活動を通じて、地域貢献型人材育成を目指す。
学修成果と評価については、①授業への参加度(70点)及び②最終レポート・提出物(30点)で総合評価する。

到達目標	1. 地域や他者との関わりを通して地域の抱える課題を捉えることができる(課題発見力) 2. 地域情報を整理し、発見した課題について論理的思考に基づいて分析することができる(分析力) 3. 問題解決視点から、解決のアイデアを構想したり、企画提案することができる(提案力) 4. 問題解決に取り組むために勇気をもって行動し、仲間と協力しながら社会貢献することができる(行動力) 5. 様々な価値観や地域文化を尊重する態度をもち、積極的に交流することができる(コミュニケーション力)
-------------	--

	内容 項目	レベル 4 (自分の意思で主体的に取り組むことができる)	レベル 3 (提示された課題について取り組むことができる)	レベル 2 (自分に興味・関心があることには取り組むことができる)	レベル 1 (取り組むことができない)
1	知的好奇心	自分から地域課題に高い関心を持ち、問題発見に好奇心を持って取り組むことができる	提示された地域課題について関心を持ち、問題発見に好奇心を持って取り組むことができる	自分が興味や関心を持てることについて、好奇心を持つことができる	地域課題に興味や関心がもてない
2	地域の課題を発見する力	地域思考・理解	地域に関する情報や課題などの知識を学び、地域を正確に広く理解することができる	提示された地域情報や地域課題について、地域に暮らす人々の立場から考えたり理解することができる	提示された地域情報や地域課題について、地域に暮らす人々の立場から考えたり理解することができる
3		情報収集力	地域でのフィールドワークにおいて、様々な方法を駆使して、地域に暮らす人々から直接、地域情報を収集し、その場の状況や返答に応じて臨機応変に必要な情報を収集することができる	地域でのフィールドワークにおいて、設定された情報を正確に収集することができる	地域でのフィールドワークにおいて、関心を持てる情報を収集することができる
4	発見した課題を分析する力	探究心	発見した課題の本質を探り見きわめるため、原因解明に意欲を持って取り組むことができる	自分が得意とする分野でなくても、指示された事柄に対して課題の本質を探ることができる	自分の興味や関心があるものに対して本質を探ることができる
5		論理的思考	複雑な問題の整理にあたり、事実と意見を整理・分類して、論理的に考えることができる	与えられた地域情報の整理にあたり、筋道を立てて考えることができる	単純な事柄について、筋道を立てて考えることができる
6		情報整理力	収集した情報の性質に対応した分析手法を用いて、一般的傾向やそこに内在する意味を正確に抽出し、整理・分類することができる	指示された分析手順にしたがって、収集した情報を整理・分類することができる	自分が関心を持っている情報について、整理・分類することができる
7	地域課題を解決する方策を提案する力	創造力	地域課題解決の方策を提案するために、自分からイメージを高め、創造意欲を持って創意工夫しつつ取り組むことができる	与えられた課題解決方策の提案のために、イメージを高め、創造意欲を持つことができる	自分が関心を持てる課題解決方策の提案のために、解決するイメージを高めることができる
8		システム思考	課題解決方策の提案にあたり、多角的視点と広角的な視野をもって、考えることができる	課題解決方策の提案にあたり、与えられた課題については、多角的な視点から考えることができる	課題解決方策の提案にあたり、関心を持てる内容について考えることができる
9		企画提案力	地域ニーズも踏まえ、地域課題を解決する企画を提案し、主体的な準備を経て、明解にプレゼンテーションすることができる	与えられた課題解決方策について企画提案ができ、プレゼンテーションをやり遂げることができる	自分が関心を持てる課題解決方策について、企画提案し、説明することができる
10	地域課題解決に向け、行動を起こし協働実践する力	使命感	自分が果たすべき課題を主体的に発見し、任務を果たそうとする確かな内的動機を持っている	周囲からの求めに応じて、自分にとって興味・関心を持っていないことに関しても、内的動機を高めてチャレンジすることができる	自分の興味・関心があることに対して、任務を果たすことができる
11		他者思考 (共感する力)	自分と行動を共にする人に対して、関心と愛情を持って積極的に交流することができ、必要に応じて積極的な支援に関わることができる	自分と行動を共にする人に対して、関心と愛情を持って接することができる	自分と関心や意見が一致する人に対して、関心と愛情を持って接することができる
12		チームワーク力	グループ活動の中で、多様な考え方を他者の意見を調整し、課題解決に向けて影響を与えるほどの貢献を行うことができる	グループ活動の中で、企画提案された課題解決方策にしたがい、仲間と協力しながら、行動することができる	グループ活動の中で自分と同様の意見を持つ人と共同して行動することができる
13	コミュニケーション力 (話す力・聴く力・意見交換力)		主体的・積極的に交流することができ、他人の考えを受け止め理解し、自分の考えも的確に表現でき、意見交換することができる	自分が得意な分野以外についても交流に努力でき、自分の意見を述べることができる	自分が得意な分野について交流することができ、自分の意見を述べることもできる